

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 弘 仁 会

令和6年度事業報告書

令和6年度の障害福祉サービス等報酬についての改定率は、全体で+1.12%（令和6年6月より施行の処遇改善加算の一本化の効果等があり、それを合わせると改定率が+1.5%を上回る水準）とし、サービスの質の確保・向上を図る観点から、経営実態を踏まえたサービスの質等に応じた報酬設定となった。

しかし、報酬単価の加算については一定の条件を満たす必要があり、今後、私たち社会福祉法人を取り巻く環境は益々厳しさを増してくる状況である。

また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染症についてもクラスターが発生し、まだまだ予断を許さない状況である。

引続き感染症対策や衛生用品の確保等、行政や業者からの情報提供・協力により、利用者及び役職員の感染症対策及び健康管理の徹底を図ってきたところである。

このような状況の中においても、法人、施設の機能を最大限に発揮し、利用者や地域の皆様の最善の利益のために努めてきたところであり、令和6年度においては、事業計画の実現に向け、当法人の4事業所がそれぞれに連携し、全役・職員共通認識のもとに進めて行くことを最重点とし、また、社会福祉法人としての使命を常に確認しながら質の高い施設経営を目指してきたところである。

1 法人の適切な事業経営と組織体制の充実

(1) 役員会の開催

「理事会」

【第1回理事会】

日 時	議 案
令和6年6月3日（月）	第1号議案 社会福祉法人弘仁会 就業規則の一部改正（案）について
	第2号議案 障がい者サポートセンターゆうすい増築工事（案）について
	第3号議案 令和6年度第1次補正予算（案）について
	第4号議案 令和5年度事業報告（案）について
	第5号議案 令和5年度計算書類及び財産目録の承認（案）及び社会福祉充実残額について
	第6号議案 定時評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項の決定について
	理事長の職務執行状況報告

【第2回理事会】

日 時	議 案
令和6年7月22日（月）	第1号議案 障がい者サポートセンターゆうすい増築工事契約業者選定（案）について
	第2号議案 令和6年度第2次補正予算（案）について

【第3回理事会】

日 時	議 案
令和6年9月20日(金) (書面決議)	第1号議案 令和6年度第3次補正予算(案)について

【第4回理事会】

日 時	議 案
令和7年3月27日(木)	第1号議案 役員賠償責任保険の加入について
	第2号議案 社会福祉法人弘仁会経理規程の一部改正(案)について
	第3号議案 育児休業規程及び介護休業規程の一部改正(案)について
	第4号議案 社会福祉法人弘仁会 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正(案)について
	第5号議案 社会福祉法人弘仁会 旅費規程の一部改正(案)について
	第6号議案 障がい者サポートセンターゆうすい運営規程及び、ゆうすいグループホーム事業所運営規程の一部改正(案)について
	第7号議案 令和6年度第4次補正予算(案)について
	第8号議案 令和7年度事業計画(案)について
	第9号議案 令和7年度当初予算(案)について
	理事長の職務執行状況報告

「評議員会」

【第1回評議員会】

日 時	議 案
令和6年6月18日(火)	第1号議案 障がい者サポートセンターゆうすい増築工事(案)について
	第2号議案 令和5年度計算書類及び財産目録(案)の承認及び社会福祉充実計画について
	報告事項 令和5年度事業報告

2 ゆうすいグループホーム事業所

外部サービス利用型共同生活援助として運営し、居宅介護サービスについては天草市社会福祉協議会に委託しているが、令和6年度については、天草市社会福祉協議会による居宅介護サービスの利用は0件であった。

実績については、以下のとおり、令和7年3月31日現在、4ヶ所の共同生活住居を21名が利用しているが、グループホームひばり入居者については、1名は長期入院中である。

(令和6年3月31日現在)

共同生活住居	定員	利用者数
ゆうすいホーム	4名	4名
ゆうすいくらぶ	5名	5名
グループホームひばり	5名	5名
グループホームかわせみ	7名	7名
合 計	21名	21名

- ① 2ヶ月に一度世話人会議を開催し、4月、8月、12月については資料配布、6月、10月、2月については集合形式で世話人会議を実施し、各住居の情報共有を図り、共通認識のもと支援を行ってきた。
- ② 外出支援を4月、7月、10月に実施し、普段買物に行けないお店での買い物を楽しんでもらった。
- ③ 旅行については、日帰り旅行ではあったが、障がい者サポートセンターゆうすいの利用者と合同で天草サーカス見学も併せて実施する事ができ、徐々にではあるがコロナ禍以前のように行事も実施する事ができた。
- ④ 避難訓練については、次のとおり天草広域連合中央消防署及び五和分署の指導の下、利用者の安全を第一とした避難誘導訓練及び、消火訓練を実施した。

【グループホームひばり】

月 日	訓 練 内 容
令和7年 3月2日	夜間（世話人不在時）想定。 食堂より出火を想定。 利用者（Uさん）が火元確認後、初期消火に失敗との想定で消防署へ通報し、消防署員からの連絡に利用者（Uさん）が対応し、人員確認を行った。 その後、五和分署職員より消火器の取扱いについて訓練を行う。 また、より安全な避難方法や避難時間短縮について再度検討することとした。

【グループホームかわせみ】

月 日	訓 練 内 容
令和 7 年 3 月 2 日	夜間（世話人不在時）想定。 台所より出火を想定。 利用者（Yさん）が火元確認後、初期消火に失敗との想定で消防署へ通報し、消防署員からの連絡に利用者（Yさん）が対応し、人員確認を行った。 その後、中央消防署職員より消火器の取扱いについて訓練を行う。 また、より安全な避難方法や避難時間短縮について再度検討することとした。

【ゆうすいホーム】

月 日	訓 練 内 容
令和 7 年 3 月 10 日	夜間（世話人不在時）想定。 食堂より出火を想定。 利用者（Sさん）が火元確認後、初期消火に失敗との想定で消防署へ通報し、消防署員からの連絡に利用者（Sさん）が対応し、人員確認を行った。 その後、五和分署職員より消火器の取扱いについて訓練を行う。 また、より安全な避難方法や避難時間短縮について再度検討することとした。

【ゆうすいくらぶ】

月 日	訓 練 内 容
令和 7 年 3 月 10 日	夜間（世話人不在時）想定。 食堂より出火を想定。 利用者（Iさん）が火元確認後、初期消火に失敗との想定で消防署へ通報し、消防署員からの連絡に利用者（Iさん）が対応し、人員確認を行った。 その後、五和分署職員より消火器の取扱いについて訓練を行う。 また、より安全な避難方法や避難時間短縮について再度検討することとした。

- ⑤ 共同生活援助の利用者は一般就労 3 名、就労継続支援 B 型 10 名であり、今後も熊本県天草障がい者就業・生活支援センターと協力し、日中活動の場の開拓、充実を図っていく。
また、利用者が高齢化しており、5 名が生活介護を利用（内 1 名は長期入院中）しているが、3 名が日中活動の場が無い現状であり、生活支援面も充実させる必要がある。

ゆうすいグループホーム事業所の利用者状況については入居5名、退居2名（1名は11月より、1名はR7年4月1日より障がい者サポートセンターゆうすい入所）、長期入院1名、であった。

月別の状況については次のとおりである。

単位：人

月	定員	空き 人数	体験 利用 延べ 日数	入院 者数	外泊 者数	入院・ 外泊延 べ日数	在籍割合	退居 者数	入居 者数
4	21	4	0	1	0	30	76.1%	0	0
5	21	4	0	1	3	37	75.2%	0	0
6	21	3	0	1	0	30	78.2%	0	1
7	21	3	0	1	0	31	80.9%	0	0
8	21	3	0	1	5	40	79.5%	0	0
9	21	3	0	1	1	31	80.7%	0	0
10	21	3	0	1	0	31	80.9%	1	0
11	21	4	0	1	0	30	76.1%	0	0
12	21	3	0	1	5	41	79.2%	0	1
1	21	2	0	1	6	44	81.7%	0	1
2	21	0	0	1	0	28	89.2%	0	2
3	21	0	0	1	0	31	95.2%	1	0
合計 (延 べ)	7,665	6,217	0	365	39	404	81.1%	2	5

3 指定特定相談支援事業所「ゆうすい」

受給者証に定められた期間（モニタリングや更新）を厳守し、本人の自宅または事業所に訪問し、面談を実施した。利用者とその家族の意向を踏まえて計画書・モニタリング報告書を作成し、福祉事務所へ提出した。

また、医療機関や福祉サービス事業所、行政機関との連携を図り、各種会議や研修会への参加、情報共有を積極的に行うと共に、迅速な支援体制づくりに努め、課題解決に向けた連携強化を推進した。

職員の資質向上の為に研修会については、相談スキルの向上と地域課題に取り組むため自立支援協議会へ継続的に参画し、地域課題の把握や支援体制の構築に努めると共に、以下の研修会に参加した。

実施月日	行先	研修内容	研修者名
5月14日	複合施設こころす	天草圏域自立支援協議会 相談班 研修会	若田 慶
5月24日	不知火防災拠点センター	県央相談支援連絡協議会 研修会	若田 慶
11月22日	くまもと県民交流館パレア	障害者虐待防止研修会	若田 慶
1月17日	栖本福祉会館	天草地区・包括支援センターと相談支援事業所の 合同研修会	若田 慶
1月24日	不知火防災拠点センター	県央相談支援連絡協議会 研修会	若田 慶

2月17日	複合施設こくらす	天草圏域自立支援協議会 相談班 研修会	若田 慶
2月20日 2月21日	くまもと県民交流 館パレア	サービス管理責任者更新 研修	松原 会紀
3月5日 3月6日	くまもと県民交流 館パレア	サービス管理責任者更新 研修	若田 慶
3月25日	くまもと県民交流 館パレア	知的障害者施設協会 種別部会：相談班	若田 慶

実績については、新規契約者3名、契約解除者2名であり、サービス等利用計画の作成72件、モニタリング報告書の作成213件であった。

月別の実績については次のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成 件数	2	2	1	1	17	9	7	10	2	5	4	12	72
モニタリ ング件数	15	14	14	17	9	28	26	23	12	11	20	24	213

4 熊本県天草障害者就業・生活支援センター事業

国、熊本県より業務委託を受け、就労相談・訓練のあっせん・雇用勧奨・定着支援、在職者交流会などを行った。

実績については、職場実習20件、一般事業所への就職26件、就労継続支援A型事業所への就職2件であり、就職・職場実習共に国の基準をクリアすることができた。

また、障がい者に対する相談・支援件数1,042件、事業所相談363件、職場訪問による職場定着支援290件であった。

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 弘 仁 会

障がい者サポートセンターゆうすい

令和6年度事業報告書

令和6年度の障害福祉サービス等報酬についての改定率は、全体で+1.12%（令和6年6月施行予定の処遇改善加算の一本化の効果等があり、それを合わせると改定率が+1.5%を上回る水準）とし、サービスの質の確保・向上を図る観点から、経営実態を踏まえたサービスの質等に応じた報酬設定となり、報酬単価及び加算については一定の条件を満たす必要があり、特に生活介護については、サービス提供時間毎の報酬単価となった事から、報酬単価を維持するためサービス提供時間を6時間から7時間に増やし、経営の安定を図ってきたところである。

また、利用者の高齢化への対応及び、日中活動の更なる充実を図ると共に、新規利用者の開拓に向けた取組みを実施してきたところであり、徐々にではあるが施設外での行事も実施する事ができ、利用者の生活もコロナ禍以前の生活に戻せつつある状況であり、できるだけ日々の生活を楽しんで頂けるよう、施設内での各種行事も充実を図ってきたところである。

しかし、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの感染症についてもクラスターが発生し、まだまだ予断を許さない状況であるが、利用者との関わり方や環境面の配慮、職員の質の向上を図ると共に、感染症予防対策の徹底、施設行事の充実を図ることにより、利用者にとって安心・安全な居場所づくりに努めると共に、地域における公益的な取組についても充実を図ることを最重点としてきたところである。障がい者サポートセンターゆうすいの利用者が2名退所され、新規入所者が3名であったが、入院者も多く、令和6年度の経営は厳しいものとなった。

事業実績については、次のとおりである。

1 管 理

施設設備の充実・改修

実施月	金額	内 容	契約先
6 月	105,710 円	浄化槽原水ポンプNo.1 取替工事	(株) 大栄クリーン工業
8 月	24,200 円	男性職員トイレの換気扇交換 修理	(株) 熊電施設
8 月	24,200 円	女性職員トイレの換気扇交換 修理	(株) 熊電施設
8 月～ 10 月	33,360,000	障がい者サポートセンターゆう すい増築工事	(有) 松本建設 (株) 弘設計事務所
10 月	27,500 円	正面玄関屋外ブラケット照明 取替工事	(株) 熊電施設
11 月	1,210,000 円	井戸ポンプ取替工事	三和電工設備 (株)
10 月	220,000 円	玄関入口上部施設看板 取替工事	ヨシダ看板
11 月	月額リース料 24,420 円	ノートパソコン 6 台	(株) 計算センター

12 月	49,500 円	Wi-Fi 機器設置工事	OA 通信サービス (株)
1 月	150,000 円	日産リーフ (EV) 購入 (中古車)	ユニバーサルファク トリー
2 月	60,500 円	電気自動車用充電コンセント 設置工事	(株) 熊電施設
3 月	77,000 円	C 棟男性身障用トイレ便座交 換修理	(株) 熊電施設

2 人材の開発及び職員の意識高揚

施設内研修においては、職員会議や個別支援会議、外部研修の報告、外部講師による研修会を以下のとおり実施した。

施設内研修実績

実施月日	研 修 内 容	講 師	参加人 員
5 月 16 日	施設利用者への基本的な介護技 術について	リハステーション RICHE 武部 啓太 氏	23 人
7 月 11 日	食中毒予防について ※新型コロナクラスター発生と 台風接近により中止し、資料配 布にて周知	天草保健所 衛生環境課 眞田 知征 氏	資料配 布によ り周知
9 月 12 日	接遇マナーについて	くまもと県民カレッジ認定 講師 野村 順子 氏	24 人
12 月 3 日	福祉用具 (紙おむつ) 等の使用 関係について	優愛らいふ・ケア 山形 初喜 氏 末松 大地 様	9 人
1 月 23 日	虐待防止研修会	施設長 岩崎 東洋司 氏	25 人
3 月 16 日	口腔ケア 基本の「き」	オーラルケアサポートさくら 歯科医師 富久 清孝 氏	25 人

施設外の研修に関しては以下のとおり研修会に参加し、職員会議時に研修報告を行った。また、新型コロナウイルスの影響により、例年行われている各種研修会についてはオンライン研修や中止となった研修会もあった。

外部研修実績

月日	行先	研修内容	研修者名
4 月 11 日 4 月 12 日	オンライン	強度行動障害支援者養成 研修	村上 理恵 三嶋 咲稀
6 月 5 日	熊本県庁防災センター	R6 年度障害支援区分認 定調査員 (基礎) 研修	堤田 隆英

6月27日	複合施設ここらす	R6年度天草地区施設職員合同研修会 ・知的障がい者施設における感染症対策 ・食品衛生講習会	松原 会紀 小川 一彦 三嶋 咲稀 岡部 綾子
8月1日	天草市民センター	R6年度安全運転管理者等法定講習	岡部 敏治
8月6日	天草公共職業安定所	公正採用選考人権・同和問題啓発推進員研修会	齊藤 英昭
8月20日	グランメッセ熊本	夏季商材 展示商談会・講習会	笠 マスミ
9月3日	桜十字ホールやつしろ	人権同和問題に関する事業主等研修会	施設長
9月4日	複合施設ここらす	摂食・嚥下機能の評価方法	笠 マスミ
9月7日 9月8日	菊愛会 総合福祉センター コムサール	強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）	小川 一彦
9月20日	くまもと森都心プラザ	R6年度 障害者雇用セミナー	松原 会紀
9月27日	複合施設ここらす	R6年度第2回天草地区施設職員合同研修会 ・虐待防止について	松原 会紀 岡部 敏治 三嶋 咲稀 井上 真智子
10月3日	複合施設ここらす	地域移行に関する研修会	松原 会紀 堤田 隆英
12月16日	天草広域本部	R6年度天草地域精神保健福祉連絡協議会	松原 会紀
1月28日	熊本県医師会館	R6年度社会福祉法人会計実務研修会	錦戸 ゆかり

2月6日	菊陽町図書館ホール	福祉サービス苦情解決事業第三者委員研修会	横山 志保
2月6日	複合施設ここらす	天草地区自立支援協議会就労班研修会	岡部 敏治
2月7日	複合施設ここらす	R6年度第2回天草地区施設職員合同研修会 ・事例発表	施設長 松原 会紀 池寄 大樹 池崎 圭一 山形 亜沙美 黒木 尚子
2月20日	くまもと県民交流館パレア	R6年度熊本県サービス管理責任者更新研修	松原 会紀
2月28日	アクアホール	R6年度熊本県知的障がい者施設協会 家族・職員合同研修会	池崎 圭一 前田 佳澄
3月13日	オンライン	令和6年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	松原 会紀 堤田 隆英
3月13日	天草市民センター	令和6年度成年後見制度利用促進研修会	若田 慶 齊藤 英昭
3月25日	くまもと県民交流館パレア	知的障害者施設協会種別部会 ・障害者支援施設部会 ・地域支援部会	施設長 松原 会紀

3 在宅福祉の推進・地域福祉の充実

(1) 短期入所事業

短期入所の実績（延べ日数）は以下のとおりである。

4月	0日（0名）	10月	21日（3名）
5月	0日（0名）	11月	22日（2名）
6月	0日（0名）	12月	2日（1名）
7月	4日（2名）	1月	2日（1名）
8月	2日（1名）	2月	2日（1名）
9月	6日（2名）	3月	0日（0名）

(2) 日中一時支援事業

天草市日中一時支援事業については、令和6年度の利用は無かった。

4月	0日(0名)	10月	0日(0名)
5月	0日(0名)	11月	0日(0名)
6月	0日(0名)	12月	0日(0名)
7月	0日(0名)	1月	0日(0名)
8月	0日(0名)	2月	0日(0名)
9月	0日(0名)	3月	0日(0名)

(3) 地域における公益的な取組(社会貢献活動含む)

- ① 生計困難者レスキュー事業における社会貢献活動拠出金の拠出。
- ② 地域の障がい者の方や高齢者の方と地域住民が交流できる地域福祉の向上を目的として、「ゆうすい祭」を実施し、400名を超える多くの地域住民の方にも参加頂いた。
- ③ 避難勧告等発令時における障がい者等の避難支援活動
令和6年度においては、利用申し込みは無かった。
- ④ 五和体育館周囲清掃及び花壇管理業務
年々高齢化が進み、参加者も限定されてきているが、花壇整備や除草作業を好まれる利用者も多く、その様な中で地域の人たちに広く活動内容を知ってもらおうと共に、公共施設を気持ちよく利用して頂くことを目的とし、新型コロナウイルス等の感染予防対策を徹底したうえで、天草市から委託を受け実施した。
- ⑤ ロードクリーンボランティア(地域清掃活動)
新型コロナウイルス等の感染予防対策を徹底したうえで、花壇の手入れを通して、地域住民の方に活動内容を知ってもらおうと共に、環境美化に対する意識の向上、身体を動かすことによる体力の増進を図ることを目的とし実施した。

4 利用者支援について

(1) 支援計画

- ① アセスメントにより利用者個々のニーズの把握を行い、支援計画書を作成し、利用者本人・家族に説明し同意を得た。
- ② 1ヶ月に1回個別支援会議を行い、会議で決定した事項については、全職員に周知徹底を図った。
- ③ 日々の記録については支援システムの有効活用(パソコン管理)を図った。
- ④ モニタリングについては、6ヶ月に1度を基本とし、見直しが必要な場合には随時行い、個別支援会議などで全職員への周知徹底を図った。

(2) 利用者への支援

項 目	支 援 内 容
趣味・余暇活動 などの充実	① 外出支援は利用者の希望により、各担当が買い物、ドライブ、食事、温泉などの外出支援を実施した。 また、利用者の希望によりボウリング大会を7月、12月、2月に実施した。 衣類等の販売会についても、マツヤスポーツ様にご協力頂き、販売会を実施し、利用者にも好評だった。 ② 毎週日曜日に喫茶の日を設け、コーヒーなどを提供し、利用者のくつろぎの場を設けた。

理容・整容	① 希望する理・美容室店を利用してもらった。 ② 外出することが困難な人に対しては、出張カットを利用してもらった。 ③ その他、希望により施設内で散髪を実施した。 ④ 日頃より各担当にて歯磨き、爪切りチェックを行い、必要に応じて支援を行った。
預かり金の管理	① 出金依頼は毎月 5 日、21 日に実施した。 ② 各担当にて現金を管理した。 ③ 年 4 回保護者へ残高通知を郵送した。
食事	自分で食事摂取できない方や食事の管理が必要な方には、医療機関、看護師、栄養士の指導・助言のもと、個々の利用者に合った食事（キザミ、ミキサー食等）や、水分についてはとろみをつけて提供すると共に、本人のペースに合わせた食事提供を行った。 また、誤嚥防止のため、嚥下体操を皆で実施し、美味しく安全に食事して頂けるよう努めた。
近況報告	年 4 回郵送し、利用者の健康状態や生活状態、行事など、主に担当が報告すると共に、家族との連携を図った。

(3) 外出支援実績

単位：延べ件数

月	外食	買物	ドライブ	カット	その他
4 月	1	9	5	0	温泉：1 母親の面会：1 法要：1
5 月	3	5	3	2	法要：1
6 月	4	5	1		温泉：3 母親の面会：1 法要：1 墓参り：1
7 月				4	
8 月	6	6	4		
9 月	2	2	3		
10 月	6	8	5	3	温泉：1 母親の面会：1
11 月	4	4	1		温泉：1
12 月	2	3	1		母親の面会：1
1 月	6	8	3		
2 月	6	7	5	1	法要：1 母親の面会：1
3 月	13	22	11		温泉：1 カラオケ：2

(4) 生活環境の充実

入浴	① 入浴は週3回(月、水、金)実施した。 ② 未入浴時は清拭実施した。 ③ 毎日入浴を希望される人には19:00まで見守りにて実施した。 ※ 失禁、多汗時など、必要に応じ随時、入浴または清拭を実施した。
排泄	① 定時に声掛け誘導を行った。 ② 尿、便失禁時は、必要に応じて清拭・シャワー浴を実施した。
感染症予防	① 風邪、インフルエンザ、新型コロナウイルス等の感染症予防として、手洗い・うがいを励行し、年間を通して次亜塩素酸水によるうがいを実施した。また、各所にポスターを掲示し、正しい消毒の仕方を説明した。 ② 次亜塩素酸水による室内消毒を毎日行い、ドアノブ・手すりなど日常的に触れる所は毎日消毒を実施し感染予防に努めた。また、冬期の乾燥している時期には加湿を行った。 ③ 施設内数ヵ所に手指消毒液を置き、施設外から戻った時には、必ず消毒を行うよう声掛け、対応を行った。 ④ 食堂、生活介護棟、浴室の脱衣所など、人が集る所にオゾン発生器及び保護者会より寄贈して頂いた空気清浄機を設置し、感染症予防に努めた。
洗面	① 洗顔、歯磨きなどの声掛け、支援を行った。 歯磨き、爪切りは各担当が日頃より気を付けてチェックを行い、必要に応じて支援を行った。 ② 毎週火曜日にコップ洗いを実施。また、月に1回ハイター消毒を行った。
寝具	① 寝具リースにより、毎週日曜日に交換し、清潔を保つことができた。 ② 失禁などで汚れた場合は、その都度交換した。 ③ 2ヶ月に1回タオルケット洗いを実施した。(夏季) ④ 2ヶ月に1回毛布洗いを実施した。(冬季)
居室の掃除・整理整頓	自活棟及び居室の掃除・整理整頓は毎日心掛けて行うよう計画し、週に1回程度は利用者の方と一緒にを行う事ができ、清潔を保つ事ができた。 また、必要に応じ、換気、消臭対策を行った。
大掃除	① 年2回覆う掃除の日を設け、日頃の掃除で行き届いていない箇所の掃除を重点的に行った。その他にも、季節に応じてエアコンのフィルター掃除や換気扇掃除、利用者用靴箱の掃除など、日頃行き届かない部分の掃除を行った。 ② 施設外の環境整備(草刈り、剪定等)も大掃除の日を実施した。
トイレ掃除	毎日必ず実施し、掃除時間以外でも必要に応じて掃除を行い、清潔を保つと共に、消臭対策についても心掛けた。 また、月1回トイレのスリッパ消毒を実施した。

浴室の掃除	使用後の掃除を行った後に水滴が残らないようふき取り、年4回薬剤を使用して浴槽の掃除を実施し、清潔を保つよう心掛けた。
-------	--

(5) 日中活動支援

創作活動		創作活動は活動の種目により参加人数にばらつきが見られ、平均して8名～9名程度の参加があり、室内作業ではちぎり絵が定着してきたので今後も継続していく。今後も、できるだけ多数の方が参加できるような利用者の意向に沿った活動に取り組んでいく。 収入実績については、天草ハイヤ祭りの木札納品や、丸尾焼からの皿立ても前年同様の注文が入り、またバザー等での販売もあり、前年度比104.5%で売り上げも上がった。
生産活動	ハウス作業	1日平均5名の利用者が参加され、ハウスでの花苗の育苗、畑での野菜作りを行い、ふれあい広場や各販売会において花苗が好評だった。また、野菜については施設の給食への提供も行った。 花苗の販売については、花の写真入りパンフレットと注文書を作成し、個人の花苗注文も増え、好評だった。 また、大口の花苗注文についても、宮野河内振興会、各施設、市内小中学校等から好調であった。 収入実績については、ふれあい広場（花苗、野菜）の販売、宮野河内振興会等の大口注文、シクラメン等の受注販売が好調であり、前年比100.2%となった。次年度も受注販売を行い、定着化を図る。 また、利用者も高齢化されてきているため、新しい作業内容や活動の検討、取り組みも必要である。
	箱折り作業	1日平均15名の利用者が参加された。 作業は室内で比較的単純作業であるため、高齢の方や体力低下の見られる方にも負担なく参加してもらうことができ、日中活動としても充実していた。
機能訓練		医務と連携し、毎朝の歩行訓練やレクリエーション等を実施し、身体機能の維持、向上に努めた。 また、有効活用できるリハビリ機器の導入を行い、機能訓練の充実を図った。
墓地清掃作業		天草市社会福祉協議会の墓地清掃管理サービス事業の五和地区の委託を受け、年間を通して墓地清掃作業を行い、令和6年度については、54件実施した。
地域清掃活動		ロードクリーンボランティアでは、沿道の花壇に、季節折々の花を植えたり、除草作業、ゴミ拾いなどを実施した。
五和体育館周囲清掃および花壇管理業務		天草市から委託を受け、花壇の整備（花植え）や周辺の除草を実施した。

(6) 夜間の支援

夜間については、夜勤者2名で対応し、就寝前の服薬、定時のオムツ交換・体位交換・トイレ誘導、不眠・早朝覚醒の見守りと巡回など、利用者の安全と安心を第一に支援を行った。

5 苦情（意見）について

苦情解決結果報告書のとおり、令和6年度の苦情は0件であった。

6 事故報告

事故発生後は速やかに事故原因及び改善策を検討し、事故報告書を作成すると共に、朝礼や職員会議等で全職員に周知し、情報の共有化を図り、事故防止に努めた。

令和6度の事故発生件数は、以下の2件であった。

①

発生 年月日	時間	場所	事故内容	事故原因
令和7年 1月27日	13：30	大浴場 前廊下 及び、 相談室 入口	入浴されようと大浴場へ 歩いて向かわれる際にふ らつかれ、相談室の入り 口の方へ傾かれ、後ろ向 きの状態で転倒される。	歩行が不安定な事がある。
			改善策	
			見守り介助の強化。保護帽を着用してもらう。	

②

②

発生 年月日	時間	場所	事故内容	事故原因
令和7年 3月5日	12:56	A棟 廊下	A棟廊下にて、居室方向に行かれている時、当直室前で一度止まれ、その後前方へ体重をかけ歩きだされ、小走りになり勢いがついたまま、突き当りの窓横の壁に頭部より衝突される。	前方へ体重移動された際、バランスを崩され小走りとなり止まる事が出来なかった。
			改善策	
			保護帽を着用されていた為頭部外傷はなかったが、今後も保護帽の着用と歩行時の声掛け、見守り、付き添いを行う。	

7 ヒヤリハット報告

令和6年度のヒヤリハットについては、14件で、インシデント毎の件数については以下のとおりであった。

インシデントの種類	件数
転倒	12
暴力	2

苦情解決一覧表

令和 6年度

施設長	管理課長	支援課長	管理責任者	係
				

番号	発生日	申出人	内 容	対応経過内容	解決策及び その後の状況	苦情処理者	第三者委員 への報告
1							
2							
3							

◎令和6年度におきましては、苦情受付件数は 0 件でした。

苦情解決結果報告書

令和 7 年 5 月 22 日

第三者委員 田口 修司 様

社会福祉法人 弘仁会
障がい者サポートセンターゆうすい
施設長 岩 崎 東 洋 司

令和 6 年度苦情受付・経過記録書について、別紙のとおり報告いたします。
なお、意見・助言等がありましたら下記に記入をお願いします。

記

意見・助言

令和 7 年 5 月 22 日

第三者委員

田口 修司

苦情解決結果報告書

令和 7 年 5 月 22 日

第三者委員 野口 米仁 様

社会福祉法人 弘仁会
障がい者サポートセンターゆうすい
施設長 岩 崎 東 洋 司

令和 6 年度苦情受付・経過記録書について、別紙のとおり報告いたします。
なお、意見・助言等がありましたら下記に記入をお願いします。

記

意見・助言

令和 7 年 5 月 22 日

第三者委員

野口 米仁

8 利用者の状況

生活介護については、通所で居宅から2名、ゆうすいホーム1名、ゆうすいくらぶ2名、グループホームひばり1名、計6名の方が利用されている。

障がい者サポートセンターゆうすい(施設入所支援)の利用者状況については、退所2名、入所3名であった。

年間の延べ利用者数については、障がい者サポートセンターゆうすい生活介護が94.5%、施設入所支援が84.1%であった。

生活介護利用者の障害支援区分については、次のとおりであり、令和6年度の平均障害支援区分は5であった。

区分	1	2	3	4	5	6
人数	0	2	2	12	16	18

施設入所支援利用者の障害支援区分については、次のとおりであり、令和6年度の平均障害支援区分は5.1であった。

区分	1	2	3	4	5	6
人数	0	0	1	12	14	17

月別の状況については次のとおりである。

障がい者サポートセンターゆうすい

「生活介護」

単位：人

月	営業日数	定員	空き人数	契約利用者数	実利用者数 (延べ)	在籍割合
4	22日	50	0	50	1,056	96.0%
5	23日	50	0	50	1,111	96.6%
6	22日	50	0	50	1,043	94.8%
7	23日	50	0	50	1,058	92.0%
8	23日	50	0	51	1,066	92.6%
9	22日	50	0	51	1,064	96.7%
10	23日	50	0	51	1,142	99.3%
11	22日	50	0	52	1,033	93.9%
12	23日	50	0	52	1,079	93.8%
1	23日	50	0	51	1,056	91.8%
2	20日	50	0	50	940	94.0%
3	23日	50	0	50	1,068	92.8%
合計 (延べ)	269日	13,450	0	13,631	12,716	94.5%

障がい者サポートセンターゆうすい
「施設入所支援」

単位：人

月	定員	在籍者数	空き 人数	入院 者数	外泊 者数	入院・外泊 延べ日数	在籍割合	退所 者数	入所 者数
4	50	43	7	1	2	30	84.0%	0	0
5	50	43	7	1	2	22	84.5%	0	0
6	50	43	7	2	2	17	84.8%	0	0
7	50	43	7	2	1	49	82.8%	0	0
8	50	44	6	2	11	58	83.0%	0	1
9	50	44	6	3	3	45	85.0%	0	0
10	50	44	6	2	1	24	86.4%	0	0
11	50	46	4	3	0	75	85.6%	0	2
12	50	46	4	4	6	118	84.3%	1	0
1	50	45	5	4	1	113	82.3%	1	0
2	50	44	6	3	1	64	83.4%	0	0
3	50	44	6	3	1	75	83.1%	0	0
合計 (延 べ)	18,250	15,356		644	46	690	84.1%	2	3

9 医療・看護体制の確立

常に利用者の安全対策を図ると共に健康の維持・増進に努めた。

また、早期発見、早期受診により疾病が重症化しないよう協力医療機関にて診察を行い、徹底した健康管理の充実を図った。併せて、利用者の高齢化に伴い、長期入院や緊急搬送の機会も増えて来ているので、事前に家族と話し合いを行うなど連携を密にし、緊急時の対応に備え延命措置を含めた同意を得る等の対策を取り、医療機関とも日頃より連携を図るよう努めた。

さらに、感染予防対策として、次亜塩素水生成装置からの生成水を、手洗い、うがい、手指消毒、口腔ケア、歯磨き後のうがい、室内の消毒、(手すり、ドアノブ)に活用すると共に、マスクの着用、換気、室温・湿度の維持などの徹底を図り予防に努めた。

口腔ケアについても、訪問歯科診療により、口腔内のトラブルに対して早期に対応でき、歯科受診の困難な利用者の方も治療できるようになった。引き続き実践力の向上を目標として、専門職の協力を得て磨き残しが多い部分や正しい磨き方、誤嚥性肺炎予防のための嚥下体操などの指導を受け、職員1人ひとりの技術力の向上を目指した取り組みを図った。

職員の健康管理については、法定健診を年1回、生活支援員については6ヶ月に1回実施し、その際腰痛検査を実施した。併せて、産業医に法定検診の結果を提出し、健康指導を受け、職員の健康増進を図った。

令和6年度の実績については次のとおりである。

(1) 定期健康診断(年2回実施)

血液検査、心電図、胸部レントゲン、検尿、血圧測定を実施した。

乳がん、子宮がん検査は希望者のみ実施した。

5月17日：42名実施。

11月29日：60名実施。

要精密検査の方は主治医に提出し、2次検診を実施した。

(2) 血圧・体重・酸素飽和濃度測定

① 毎月1回、全員を対象に実施した。(年度始めには可能な利用者は身長測定)

② 血圧は不安定な利用者を対象に毎日測定を行った。

- ③ 体重は年間の増減で栄養士、かかりつけ医に相談した。
- (3) 施設内治療
皮膚疾患多数にて（現在 8 名）毎日薬の塗布を実施したが、足白癬、老人性乾皮症、皮膚そう痒症の方が多く、完治することができず現在も治療中である。
- (4) 予防接種
全利用者、全職員を対象にインフルエンザ予防接種を 10 月 17 日に実施した。
- (5) 感染症予防対策
① 年間を通して毎食前、外出後の次亜塩素酸水でのうがいを実施した。
② 手洗いの実施とアルコールでの手指消毒を随時呼びかけ実施した。
③ 予防としてのマスクの着用を推進した。
④ 毎日の次亜塩素酸水による全居室の消毒を実施した。
⑤ ドアノブ・手すりなど日常的に触れる所は毎日消毒を実施した。
⑥ 室内の換気、適度な室温・湿度の維持に努めた。
- (6) 健康管理
① 起床時、検温・排便チェックを実施した。
② 毎月、血圧・体重・酸素飽和濃度測定を実施した。
- (7) 服薬管理（服薬者 41 名）
自己管理ができない利用者には毎食後与薬し、確実な服薬の実施を行った。
令和 6 年度は誤薬事故は 0 件であった。
① 4 週間に 1 回現況届け・処方せん・利用者通院。
・あしはら医院
② 4 週間に 1 回現況届け・処方せん・利用者通院
・酒井病院
③ 月 1 回定期受診・処方せん・利用者通院
・大塚クリニック
・地域医療センター
・とりや耳鼻科
・第一病院
・おくむら皮膚科
・中村クリニック
・うらた眼科
・さかいクリニック
・天草セントラル病院
・天草病院
・中嶋歯科
・東整形外科
④ 定期内服準備（毎週木曜日）
- (8) 病院受診
精神科、内科、皮膚科、外科、耳鼻科、眼科、泌尿器科、整形外科、婦人科、歯科など必要に応じて受診した。
年々、医療機関受診も増し、毎日受診している状況であった。また、利用者の重度化に伴い、引率は可能な限り 2 人体制で対応した。
- (9) 訪問歯科
毎週火曜日、木曜日に「オーラルケアサポートさくら」より訪問診療して頂き、28 名の利用者が治療及び口腔ケアを実施した。

令和 6 年度の通院、入院状況は次のとおりである。

月別疾病別通院入院件数

単位：人

疾病	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科	18	16	30	24	17	12	19	31	31	17	14	17
外科	1	2	0	3	0	1	3	1	1	4	2	1
耳鼻科	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0
眼科	6	4	4	2	1	1	2	2	2	1	1	2
皮膚科	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2
婦人科	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
精神科	26	30	29	28	29	28	31	27	29	30	27	29
歯科	28	30	28	29	27	27	29	25	22	25	25	21
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1
整形外科	2	0	1	1	2	0	1	0	1	0	0	2
入院	1	1	2	2	2	3	2	3	4	4	3	3

※歯科受診については訪問歯科含む。

(10) 令和 6 年度新型コロナウイルス・インフルエンザ感染者は次のとおりである。

- ・新型コロナウイルス感染症陽性者
令和 6 年 6 月 23 日～7 月 8 日にかけて、利用者 33 名、職員 15 名
- ・インフルエンザ感染陽性者
令和 6 年 12 月 17 日～12 月 31 日にかけて、利用者 25 名、職員 7 名
両感染症ともに利用者、職員に対し発症後 5 日間の療養期間を設け、自室での隔離を行い感染拡大防止に努めた。

1 0 給食サービスの充実

旬の食材を取り入れ、季節感のある献立、変化に富んだメニューの提供、利用者の要望に応えられるような献立の作成に努めた。併せて、利用者の体調に合わせた食事の提供にも努めた。

また、食中毒を起こさないように、調理作業や衛生管理にも十分に注意を払った。

(1) 食事の形態

ミキサー食：2 名
みじん切り：10 名
1 口大きざみ食：13 名
むしりのみ：3 名
減塩食：2 名
糖尿食：3 名

(2) 給食会議

月1回(年12回)実施した。

「会議内容」

- ・利用者の食事の変更等について
- ・行事食等の計画について
- ・衛生管理の徹底について
- ・食材の管理について
- ・食材の取り扱い、調理作業について
- ・食中毒について
- ・体調管理について(職員・利用者)
- ・食材納入時の鮮度確認について
- ・欠食の連絡について
- ・調理法の確認

(3) 行事食

こどもの日・七夕・土用の丑の日・夕涼み会・敬老の日・ひな祭り・
バーベキュー・おせち料理・七草・鍋料理クリスマス忘年会など

(4) おやつ

お盆・秋分の日・十五夜・バレンタインデー・ホワイトデー・春分の日・
子供の日・毎週土曜日・毎月の誕生会

(5) 衛生管理

月1回厨房職員の検便を実施した。

2ヵ月に1回業者による厨房・食堂内の害虫駆除を実施した。

年2回厨房内大掃除を実施した。

オゾン発生器による消毒を実施した。

電解水生成装置による食材と食器の消毒を実施した。

1.1 利用者や地域社会への情報開示の促進と広報活動の推進

(1) ホームページについては、随時情報の更新を図った。

(2) 機関紙「ゆうすい」年3回発行(4月、9月、1月)

(3) 各種行事のパネル(写真など)作成を行った。

(4) 地域や関係機関への広報活動の推進

年間を通して各種展示即売会(あまくさ福祉まつり、五和文化祭、こころ
す販売会)に参加し、施設の作業製品(花苗、手芸品など)の展示・販売
を利用者さんと一緒に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感
染予防のため、感染対策を十分に行ったうえで、職員のみで参加した。

(5) 天草市広告掲載(共通封筒、窓口封筒)を行った。

(6) ぷらっさ本渡広告掲載(熊日新聞折り込みチラシ)を行った。

1.2 ボランティア・実習生の受け入れ実績

- ・天草支援学校 高等部3年1名(令和6年9月17日~19日)
- ・ワークキャンプ(五和中学校 7名)(実施日:8月16日)
- ・花蚩 ゆうすい祭ボランティア(10名)(11月18日)
- ・天草高校 ゆうすい祭ボランティア(1名)(11月9日)
- ・五和中学校 ゆうすい祭ボランティア(10名)(11月9日)
- ・北星堂 ゆうすい祭ボランティア(1名)(11月9日)

1 3 年間行事報告

令和 6 年度の年間行事は以下のとおり行った。

月 日	行 事 名	参 加 人 数
4 月 18 日	お菓子の販売会（施設内）	全員参加
5 月 21 日	フラワーアレンジの会	14 名
5 月 23 日、28 日	買物外出（女性利用者）	11 名
5 月 30 日	花しょうぶ園見学	全員参加
6 月 6 日	ゆうすい運動会	全員参加
6 月 18 日、25 日	買物外出（男性利用者）	10 名
7 月 23 日	ボウリング大会	19 名
8 月 22 日	夕涼み会、スイカ割り 花火大会	全員参加
9 月 3 日、5 日	買物外出（重度利用者）	8 名
9 月 14 日	グリーンフェスタ見学	7 名
9 月 19 日	フラワーアレンジの会	13 名
11 月 9 日	ゆうすい祭	全員参加
11 月 14 日	利用者旅行（日帰り①）	13 名
12 月 4 日	利用者旅行（日帰り②）	26 名
12 月 19 日	ボウリング大会	インフルエンザの 為中止
12 月 24 日	餅つき、クリスマス・忘年会	全員参加
1 月 7 日	初詣	28 名
1 月 7 日	鬼火焼き	全員参加
1 月 21 日	フラワーアレンジの会	14 名
2 月 3 日	節分（豆まき）	全員参加
2 月 20 日	ボウリング大会	18 名
3 月 18 日	フラワーアレンジの会	15 名
3 月 30 日	花見ドライブ	48 名（GH含む）
毎月最終木曜日	誕生会	全員参加
毎週日曜日	喫茶日（コーヒー等の提供）	全員参加
随時	買物外出 （各担当で利用者の希望に応 じて実施）	

1 4 防災訓練

- ① 防災計画の周知を図り、防災非難体制の明瞭化を図ると共に、利用者・職員の防災意識の向上に努めた。
- ② 避難訓練については、下記のとおり天草広域連合中央消防署五和分署の指導の下、利用者の安全を第一とした避難誘導訓練及び、消火訓練を実施した。
- ③ 風水害によるライフラインの被害を想定し、備蓄品による炊き出し訓練を実施した。

月 日	訓 練 内 容
令和 6 年 9 月 19 日	震度 6 の地震により、C 棟当直室より出火想定。 また、地震により、C 棟作業室付近が半倒壊し、移動できないと想定。支援員（本島）が火元確認後、消火班（本島、池崎）が初期消火にあたる。初期消火に失敗との想定で火災通報装置にて消防署へ通報し、消防署からの連絡に生活支援員（井上）が対応。 避難誘導班（神田、石本、三島）、救出救護班（岡部）は非常用放送設備の避難放送により利用者の避難誘導にあたった。防護安全班（松原、上田）は防火扉を作動、非難経路の確保にあたる。 人員確認及び安全の有無を確認し、自衛消防隊長（施設長）に報告終了まで約 8 分 40 秒を要した。 その後、消防署五和分署職員より消火器の取り扱いについて訓練を行った。また、避難方法、避難時間短縮、人員確認の簡略化、明瞭化について再度検討する事とした。 10 時より風水害を想定した炊き出し訓練を職員、利用者共同で実施した。
令和 7 年 3 月 11 日	夜間想定訓練。A 棟当直室より出火との想定。 夜勤想定職員（小川）は出火場所を確認後、火災通報装置を作動させると共に、緊急連絡網にて職員に召集をかける。 夜勤想定職員（井上）は非常用放送設備の避難放送により、利用者を速やかに避難場所へ誘導する。 夜勤想定職員以外の職員は、火災発生 5 分後より利用者の避難誘導にあたる。 夜勤者が人員確認及び安全の有無を確認し、自衛消防隊長（施設長）に報告終了まで約 6 分 47 秒を要した。 緊急連絡網を使用し、招集訓練も実施。8 系統あり最後の職員への伝達まで 18 分要した。また、グループラインでの連絡では、送信から 10 分で 40 名中 32 名の既読であった。 その後、消火器の取扱いについて説明を受け、訓練を行う。 また、避難方法や確認方法についての助言・講評を頂き、今後の訓練の意識高揚に努める事とした。